

項目	3. 高時川および丹生ダム貯水池の水質
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 調査結果から非常に貧栄養の川であることは明かであり、今後、河川環境のあるべき姿を考える場合に保全するべきラインとして位置づける必要がある。 ● 冷水対策として曝気を行うことが有効との検討結果であるが、現実に可能なのか。 実績を踏まえた計算結果により理屈としては対応可能である。ただし、細かい運用については今後も検討する必要はあると考える。 ● 曝気を行うことによる追加コストを示して欲しい。そこまでする必要あるかの判断に関わる。 後日、想定する曝気装置の算出コストを示す。 ● 日吉ダムでは濁水の被害がないということであるが、それは地質構造的に大丈夫なのか、ダムの運用により被害がないのか。それにより丹生ダムの運用を考える必要がある。 日吉ダムの観測値を整理し示す。
今後の方針、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の意見、指摘事項を参考に資料の整理、調査検討を行う。

項目	4. 高時川における土砂移動
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 姉川河口の空中写真で昭和 36 年と昭和 49 年以降の河口の変化が大きい原因を把握しているか。 把握はできていない。引き続き調査を行う。 昔は姉川の分派により増水時に大量の土砂供給があった。湖岸道路の設置により分派の流れはなくなった。これが原因とも考えられる。 ● 今回検討した土砂動態は、近年の細かい土砂が動く状況の再現であるが、あるべき環境としてはもう少し大きな土砂が動く状況が再現される必要がある。従って、大出水時の検討が必要である。
今後の方針、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 砂利採取については、滋賀県へのヒアリング等による調査を行う。

項目	5. 姉川・高時川の河川環境の今昔
意見のまとめ	<ul style="list-style-type: none"> ● 聞き取り調査の内容を整理することで、今後、川のあり方を考える上で参考になる。 ● 河畔植生の利用実態の情報が必要である。
今後の方針、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 上記の意見、指摘事項を参考に資料の整理、調査検討を行う。

項目	6. 農業水利の現状
意見のまとめ	(特になし)
今後の方針、等	(特になし)

項目	7. その他
意見のまとめ	(特になし)
今後の方針、等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次回開催は11/5(金)午後とする。